



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名



株式会社メタリアル

上場取引所 東

コード番号 6182 URL <https://www.metareal.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ管理本部長 (氏名) 荒川 健人 TEL 03-6685-9570

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	983	△7.0	111	6.4	124	7.5	59	6.4
2023年2月期第1四半期	1,058	2.4	104	169.3	116	144.3	55	75.8

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 59百万円 (6.4%) 2023年2月期第1四半期 55百万円 (75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	5.57	5.47
2023年2月期第1四半期	5.24	5.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	4,329	1,192	26.6
2023年2月期	4,220	1,133	25.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 1,151百万円 2023年2月期 1,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年2月期	-	-	-	-	-
2024年2月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,589	6.9	611	18.6	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

◆セグメントごとの連結業績予想

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期				
MT事業	3,152	8.3	599	△4.9
HT事業	1,416	3.4	254	△4.6
メタバース事業	20	95.0	△280	—
その他本社費等	—	—	36	△15.2

（注） 1. 2023年2月期においてはレンジでの業績予想を行っていましたが、2024年2月期は、音声AI翻訳リリースからの情報累積並びに新型コロナウイルスの5類感染症への移行等に鑑みて、既存事業についてはレンジでの業績予想ではなくスポットの業績予想を行うことといたしました。

なお、上記業績予想数値にMetareal AI（2023年3月8日開示「子会社における新たな事業の開始に関するお知らせ」参照）の業績影響は織り込まれているものの、直前連結会計年度（2023年2月期）の売上高に対する10%に該当する売上高の増加（430百万円）と同額の費用計上をMT事業において行っております。

Metareal AIの費用については、事業開始日である5月31日までの特別な支出は限定的であるものの、業界動向・成長曲線変容が非常に早く、見積もりが困難であることに鑑みて売上影響と同額の費用が発生することから、Metareal AIによる売上増加と同額という保守的な見込みを用いています。

また、Metareal AIの損益は当面MT事業にて計上を行い、Metareal AIの実績値の数値重要性が増した段階でMT事業の名称変更を予定しております。

2. 2024年2月期の連結業績予想の「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」については、新規事業Metareal AIに伴う負債・資本両面での資金調達等の財務計画上の不透明さがあることから、現時点では非開示としております。今後、予想の確度が上がった場合には、速やかに具体的な数値の開示をさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	10,688,460株	2023年2月期	10,688,460株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	468株	2023年2月期	468株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	10,687,992株	2023年2月期1Q	10,671,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(四半期連結損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	7
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年5月31日)につきましては、MT事業及びHT事業のセグメントにおいては対前年比における利益の減少が発生したものの、メタバース事業においては損失発生額が縮小しました。

結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は983,792千円(前年同期比7.0%減)、営業利益は111,652千円(同6.4%増)、経常利益は124,863千円(同7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,480千円(同6.4%増)となりました。

なお、メタバース事業以外の事業における売上高は982,342千円(前年同期比7.0%減)、営業利益は167,894千円(同22.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①MT事業

MT事業におきましては、受注活動においては堅調に推移し902,413千円(前年同期比4.9%増)となりましたが、売上高は前年度の受注低下影響により711,461千円(前年同期比3.6%減)となり、セグメント利益は新規事業である「Metareal AI」への先行投資影響により134,042千円(前年同期比12.8%減)となりました。短中期の成長施策として本年度より開発・提供を開始した「Metareal AI」プロジェクトに関しましては、早期での業績寄与を目指し、当第1四半期におきましては6つのプロダクトローンチを行い、大手のお客様を中心に生成AIを活用した様々な提案、営業を開始しております。

②HT事業

HT事業におきましては、売上高は270,880千円(前年同期比15.0%減)となり、セグメント利益は32,396千円(前年同期比46.8%減)となりました。

③メタバース事業

短中期の成長施策を「Metareal AI」プロジェクトにシフトし、メタバース事業は10±5年の長期視座として投資額を減らしたことにより、売上高は1,449千円(前年同期比2.9%減)となり、セグメント損失は56,241千円(前年同期は110,442千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,173,920千円となり、前連結会計年度末に比べ200,644千円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる未収還付法人税等(大部分はグループ内配当金の源泉税)が155,054千円増加、受取手形及び売掛金が46,496千円減少、現金及び預金が31,282千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ91,650千円減少して1,155,782千円となりました。これは主に、有形固定資産が16,729千円減少、無形固定資産が63,979千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,187,282千円となり、前連結会計年度末に比べ197,790千円増加いたしました。これは主に、前受金が215,815千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ148,277千円減少して949,621千円となりました。これは主に、長期借入金が96,495千円減少、社債が45,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,192,798千円となり、前連結会計年度末に比べ59,480千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が59,480千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営上のテーマは以下の2点です。

①メタバース事業における「Metaverser」構想及びその手段としての「Metaverse×AI」

メタバース事業は、5年後以降での開花を想定する長期成長戦略として、「Metaverser」構想及びその手段としての「Metaverse×AI」を課題として取り組みます。

②MT事業及び「Metareal AI」プロジェクト

ドキュメントAI翻訳の『T-400』『T-3MT』、音声AI翻訳の『オンヤク』等のサービスを展開するMT事業については継続して安定成長を目指します。5月末日にリリースしたAI関連サービス統一プラットフォーム「Metareal AI」はChatGPT等の生成AIのみならず数多のAIサービス群を企業のビジネス活用の観点で統合したものです。独自アプリケーションにとどまらず世界中の最先端のAIサービスを高速で提供し、日本の企業との橋渡しをも担うために開発、提供を開始したものであり、世界規模の急激なAIシフトに日本企業が対応できるビジネス環境のワンストップなAI化を推進してまいります。MT事業及び「Metareal AI」プロジェクトにより、5%~20%の成長を目指します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,523,695	2,554,978
受取手形及び売掛金	278,738	232,241
棚卸資産	16,075	18,720
その他	196,817	398,805
貸倒引当金	△42,051	△30,825
流動資産合計	2,973,276	3,173,920
固定資産		
有形固定資産	117,936	101,207
無形固定資産		
のれん	6,709	5,032
ソフトウェア	647,051	574,837
ソフトウェア仮勘定	572	12,172
その他	16,752	15,064
無形固定資産合計	671,086	607,106
投資その他の資産		
投資有価証券	86,071	86,071
その他	372,338	361,396
投資その他の資産合計	458,409	447,467
固定資産合計	1,247,433	1,155,782
資産合計	4,220,709	4,329,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,270	57,541
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	385,980	385,980
1年内償還予定の社債	134,000	134,000
未払法人税等	28,913	74,773
賞与引当金	44,860	86,289
前受金	859,439	1,075,254
その他	362,028	373,442
流動負債合計	1,989,491	2,187,282
固定負債		
社債	388,000	343,000
長期借入金	669,550	573,055
その他	40,349	33,566
固定負債合計	1,097,899	949,621
負債合計	3,087,391	3,136,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	786,021	786,021
資本剰余金	1,759,968	1,759,968
利益剰余金	△1,452,866	△1,393,386
自己株式	△951	△951
株主資本合計	1,092,171	1,151,652
新株予約権	41,146	41,146
純資産合計	1,133,318	1,192,798
負債純資産合計	4,220,709	4,329,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,058,240	983,792
売上原価	396,877	332,537
売上総利益	661,363	651,254
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	163,789	159,087
研究開発費	53,219	51,999
賞与引当金繰入額	33,075	31,312
退職給付費用	1,737	1,935
その他	304,608	295,267
販売費及び一般管理費合計	556,430	539,601
営業利益	104,933	111,652
営業外収益		
受取利息	11	11
為替差益	46	650
助成金収入	8,969	16
貸倒引当金戻入額	16,067	20,875
その他	694	1,270
営業外収益合計	25,790	22,824
営業外費用		
支払利息	3,526	2,669
持分法による投資損失	3,005	6,246
社債発行費	6,624	—
その他	1,412	697
営業外費用合計	14,568	9,613
経常利益	116,154	124,863
特別利益		
固定資産売却益	—	831
特別利益合計	—	831
特別損失		
固定資産除売却損	2,260	—
減損損失	—	2,826
特別損失合計	2,260	2,826
税金等調整前四半期純利益	113,894	122,868
法人税等	58,015	63,388
四半期純利益	55,879	59,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,879	59,480

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	55,879	59,480
四半期包括利益	55,879	59,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,879	59,480
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結損益計算書関係)

(減損損失)

前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	HT事業	メタバース事業	計		
財又はサービスの種類別						
機械翻訳	729,008	7,833	—	736,842	—	736,842
人間翻訳	9,105	310,799	—	319,905	—	319,905
メタバース	—	—	1,493	1,493	—	1,493
顧客との契約から 生じる収益	738,114	318,633	1,493	1,058,240	—	1,058,240
収益認識の時期別						
一時点で移転される 財又はサービス	86,490	283,646	1,493	371,630	—	371,630
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	651,623	34,986	—	686,610	—	686,610
顧客との契約から 生じる収益	738,114	318,633	1,493	1,058,240	—	1,058,240
外部顧客への売上高	738,114	318,633	1,493	1,058,240	—	1,058,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,134	10,348	—	11,483	△11,483	—
計	739,249	328,981	1,493	1,069,723	△11,483	1,058,240
セグメント利益 又は損失(△)	153,631	60,846	△110,442	104,036	897	104,933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額897千円には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	HT事業	メタバース事業	計		
財又はサービスの種類別						
機械翻訳	687,478	8,149	—	695,627	—	695,627
人間翻訳	17,624	262,731	—	280,355	—	280,355
メタバース	—	—	1,449	1,449	—	1,449
受託開発	6,359	—	—	6,359	—	6,359
顧客との契約から 生じる収益	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
収益認識の時期別						
一時点で移転される 財又はサービス	63,766	235,123	943	299,832	—	299,832
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	647,695	35,757	506	683,959	—	683,959
顧客との契約から 生じる収益	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
外部顧客への売上高	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,535	12,457	—	13,993	△13,993	—
計	712,997	283,337	1,449	997,785	△13,993	983,792
セグメント利益 又は損失(△)	134,042	32,396	△56,241	110,197	1,455	111,652

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,455千円には、セグメント間取引消去、及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	5.24円	5.57円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	55,879	59,480
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	55,879	59,480
普通株式の期中平均株式数(株)	10,671,731	10,687,992
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	5.15円	5.47円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	182,055	178,445
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。